

令和6年度第4回京田辺市学校部活動の地域移行推進協議会
会議録

日 時 令和7年3月4日（火） 午後3時00分 開会
午後4時30分 閉会

場 所 京田辺市立中央公民館 第2研修室

会 議 議 題 報告 実証事業の活動について
議題

- (1) 学校部活動及び地域クラブ活動指導指針について
- (2) 運営団体の在り方について
- (3) 来年度について
- (4) その他

出 席 者 委 員 長 竹 田 正 樹
委 員 山 際 雅 詩
委 員 岡 嶋 一 晃
委 員 今 村 京 子
委 員 森 本 克 美
委 員 横 井 秀 平
委 員 松 下 まどか
委 員 坂 本 健 二

(事務局出席職員)

こども・学校サポート室 総括指導主事 勝 又 靖 志
こども・学校サポート室 指導主事 西 田 悠 太

(その他の出席者)

なし

傍聴者の数 0人

会議の要旨

○報告 実証事業の活動について

[報告]

事務局から、1月に行った実証事業の活動について報告し、協議を行った。

[質疑]

(委員)

生徒は指導者が違うことの不安があり、参加を見送ったというような声を聞いた。

(委員)

平日と休日で指導者が変わることで、そのような課題は出てくるであろう。

○議題（１）学校部活動と地域クラブ活動指導指針について

[協議]

事務局から資料に基づいて説明し、学校部活動と地域クラブ活動指導指針の内容について、協議を行った。

[質疑等]

(委員)

地域クラブ活動の定義のようなものがないとわかりにくいのではないかと。

(事務局)

府の指導指針に記載されています、学校部活動と地域クラブ活動の表をもとにして作成し、「はじめに」のところに追加します。

(委員)

16ページの最終行に、「生徒の望ましい成長を保障すること」とあるが、「保障すること」となるとかなり意味が重たく、地域クラブ活動を実施しようとする団体が躊躇するのではないかと。

(委員)

「を保障すること」を「に努めること」に変更してはどうだろうか。どの地域クラブであっても、生徒の望ましい成長にむけて活動してもらう必要はあるでしょう。

(委員)

学校部活動にも「保障すること」とあるが。

(委員)

学校は教育活動であるので、この言葉でも良いと考える。

(委員)

この活動指針の策定に向けての今後のスケジュールはどうなっていますか。

(事務局)

本協議会の後、教育委員会定例会で確認し、その後、各中学校に通知を出します。また、市のホームページにも掲載します。

○議題（２）運営団体の在り方について

[協議]

事務局から資料に基づいて説明し、運営団体の在り方について、協議を行った。

[質疑等]

(委員)

運営団体と実施主体、指導者、生徒の関係性がわかりづらい。

(事務局)

運営団体と実施主体を分けて、指導者、生徒も矢印を変更したりして、わかりやすくなるよう、修正します。

(委員)

市と教育委員会が管理するのではなく、独立して行っていく。市と教育委員会は連携していく形。

(委員)

運営団体の人件費が発生すると思うが、その財源はどうするのか。

(委員)

行政負担で自主的な活動のフォローをすることは厳しいので、受益者負担になる。

(委員)

実施主体から運営団体への登録費的なものが必要になってくるのではないだろうか。

(委員)

他府県では、生徒1人何百円を集めていたり、企業の協賛を得ている例もある。

(委員)

スポーツ協会の社会体育の開放事業の仕事量は多く、一人充てている。市の負担も必要である。

(委員)

他市町の生徒はどうするのか。

(委員)

学校部活動の地域移行した地域クラブと一般のクラブチームの境目が、他市町の生徒を受け入れるかどうかであるような考えである。

(委員)

中学生を受け入れるクラブチームがないとするとときにどうするのか。

(事務局)

人材を探していく。

(委員)

兼業兼職の教師も含めて探すほうがよい。

(委員)

人材が見つかって地域クラブとして活動していくためのノウハウがないことも課題になってくる。

(委員)

管理する事務局は必要、その人と予算をどのように確保していくのか、市からなのか生徒からなのか。

(委員長)

今日だけで決まることではない。来年度も運営団体の在り方については、さらに協議していく必要がある。

○議題（３）来年度に向けて

[協議]

事務局から説明し、来年度に向けて協議を行った。

[質疑等]

(委 員)

実証事業の検証もしていかないといけないのではないか。

(事務局)

アンケート調査を行っていく。時期や内容については、今後提案させていただく。

○議題（４）その他

特になし。

以上